



野山の花

— 身近な山野草の食効・薬効 —

(これまでのまとめ)

白瀧 義明 (SHIRATAKI Yoshiaki)*

* 城西大学薬学部薬学科 e-Mail: shiratak@josai.ac.jp

Key Words : 野山の花, 薬用植物, 生薬

はじめに

10月のある日、明海大学、坂上教授から突然の電話があった。「コロナの発生からそろそろ1年が経とうとする今、我々の経済、日常生活、メンタルヘルスは大きな痛手を受け続けております。これからのコロナ社会で新しい人生設計、環境設定を考える良い機会です。これまでの自身の仕事を振り返り、現在の弊害を乗り越え、私たちが築いてきた仕事、人間関係などをどのようにして継続し、発展していくかを力強い思いを込めた原稿を募集します。」とのことであった。おりしも、オンライン授業の準備で多忙を極めており、適当に返事をして電話を切ったのが運の尽きとなり原稿を書くことになった。そこで、これまで、本誌 (New Food Industry) に連載してきた《野山の花 (5年9ヶ月分, 植物種: 69種, 【カタクリ [57(5), 51 (2015)] ~ オモト [63(1), 72-74 (2021)]】》をまとめることにした。

「野山の花」を執筆するにあたり、記載事項は、植物名 (和名)、植物名 (学名: ラテン名)、科名 (和名)、科名 (学名: ラテン名)、生薬名 (和名)、生薬名 (学名: ラテン名)、薬効・用途、成分、化学構造式、漢方薬、その他トピックス等、じつに多方面にわたる。その中で最も気を使うのが植物の写真である。つまり、その植物の特徴をよく表している写真を探すことが何よりも大切で、さらに植物全体の写真、花、果実、葉、根の写真など、満足のいくものは、なかなか得られない。特に花の写真は、天候と開花時期がうまく合っていないとよい写真は撮れない。中には、数年に渡って観察し、その採集場所へ何度も通い、ようやく、撮影に成功したのものもある。誰もいない山で、花と向き合うのは、とても楽しい苦労です。植物の分類については、かつての植物の形態を主とした新エングラール分類から、最近では、遺伝子情報を加味した APG 分類が主流となり、科名や学名が変わってきている。調べれば調べるほど、未知の事柄に出会い、時の経つのも忘れてしまうほどである。

自然を探求する場合、特に植物に関して、植物の分類や分布については植物を専門とする生物学者、成分の化学構造については有機化学者、成分の生理活性については薬理学者や生化学者、漢方薬については医師、薬剤師、生薬学、生薬薬理を専門とする薬学者等、さらに、栽培に関する農業や林業などの考察、また、歴史的な考察を必要とする場合もある。それぞれの専門分野の人たちの協力なくして、生薬や漢方薬の科学研究は困難と思われまふ。何よりも大切なのは、いろいろな分野の人達と共同して研究を進めることでしょう。今、その重要性を痛切に感じています。地球が誕生し 46 億年、生物が誕生し 39 億年、そして人類が誕生し 800 万年の時が過ぎました。我々の祖先もこれまでに幾多の困難に遭遇したと思われまふ。その度に、困難を乗り越え、今を迎えています。幾多の難局を乗り越えてきた人類の英知を結集すれば、きっと、道は開けるでしょう。いえ、人類はこの難局を乗り越えると信じています。今の「コロナ渦」、人間関係が希薄になりがちです。私達は、コロナ渦の弊害を乗り越え、これまで築いてきた人間関係をより一層深くして研究を継続、発展していくべきではないでしょうか。

◆ 野山の花リスト (植物名順) ◆

No. 植物名	生薬名	薬用部位	薬効・利用	主要成分	Vol (No) ページ (発行年)	備考
1. アケビ 	木通	茎	利尿	サポニン： akeboside Ste	58(4) 38-39 (2016)	
2. アミガサユリ 	貝母	鱗茎	鎮咳, 去痰, 排膿	ステロイダルアルカロイド： peimine (verticine), peiminoside	61(3) 244-246 (2019)	
3. イカリソウ 	淫羊藿	茎葉	補精, 強壯	フラボノイド： icariin, アルカロイド： magnoflorine	59(4) 92-93 (2017)	
4. イチョウ 	白果	種子	夜尿症, 咳止め	(葉) セスキテルペノイド： bilobalide, ジテルペノイド： ginkgolide A, フラボノイド： ginkgetin, (種子) ginkgotoxin	61(12) 946-950 (2019)	
5. イワタバコ 	苦苣苔	葉	胃弱, 食欲 不振	苦味配糖体： conandroside	62(8) 612-614 (2020)	
6. ウスバサイシン 	細辛	根, 根茎	鎮咳, 去痰, 鎮痛	精油： methyleugenol, リグナン： (-)-asarinin	60(5) 76-78 (2018)	

◆ 野山の花リスト (植物名順) ◆

No. 植物名	生薬名	薬用部位	薬効・利用	主要成分	Vol (No) ページ (発行年)	備考
7. ウツボグサ 	夏枯草	花穂	消炎 利尿	トリテルペン： ursolic acid, タンニン, 無機塩類	61(6) 462-464 (2019)	
8. ウメ 	烏梅	未熟 果実 (燻蒸)	健胃 整腸	有機酸： citric acid, トリテルペン： oleanolic acid	62(1) 76-78 (2020)	
9. エンジュ 	槐花	蕾	止血, 高血圧 予防	フラボノール配糖体： rutin	61(8) 618-621 (2019)	
10. オウレン 	黄連	根茎	下痢, 腹痛, 消化 不良	ベンジルイソキノリン アルロイド： berberine	58(1) 96-97 (2016)	
11. オオバコ 	車前子, 車前草	種子, 葉	鎮咳, 去痰, 消炎, 利尿	(車前子) 粘液多糖： plantasan, イリドイド配糖体： aucubin, フラボノイド配糖体： plantaginin, (車前草) イリドイド配糖体： aucubin, フラボノイド配糖体： plantaginin	60(12) 72-74 (2018)	
12. オキナグサ 	白頭翁	根	消炎, 収斂, 止血	2- プテノライド： protoanemonin, トリテルペン： pulsatilliac acid	61(4) 326-328 (2019)	有毒

◆ 野山の花リスト (植物名順) ◆

No. 植物名	生薬名	薬用部位	薬効・利用	主要成分	Vol (No) ページ (発行年)	備考
13. オケラ 	白朮	根茎	健胃, 整腸, 利尿	セスキテルペン: atractylon	57(12) 72-73 (2015)	
14. オニユリ 	百合	鱗片葉	消炎, 鎮咳, 利尿, 鎮静	フェノールグリセリド: 1-O-p-coumaroylglycerol, 3,6'-O-diferuloylsucrose	60(8) 28-31 (2018)	
15. オモト 	万年青根, 万年青葉	根茎, 葉	強心	強心配糖体: rhodexin A, スピロスタン系サポニン: rhodeasaponin	63(1) 72-74 (2021)	有毒
16. カタクリ 	片栗	鱗茎	デンプン: すり傷, 湿疹, 糊液: 滋養 強壯剤, 賦形剤	デンプン	57(5) 51 (2015)	
17. ガマ 	蒲黄	花粉	止血, 通経, 利尿	フラボノイド: isorhamnetin, 脂肪油: palmitic acid	62(9) 664-667 (2020)	
18. カラスウリ 	王瓜根, 王瓜仁	根, 種子	下血, 黄疸, 月経 不順, 咳止め, 小児の 皮膚病	(根) デンプン, タンパク質, (種子) 脂肪油, タンパク質	57(8) 80-81 (2015)	

◆ 野山の花リスト (植物名順) ◆

No. 植物名	生薬名	薬用部位	薬効・利用	主要成分	Vol (No) ページ (発行年)	備考
19. カラスビシャク 	半夏	塊茎	鎮嘔 鎮吐薬, 鎮咳去痰	フェノール化合物: homogentisic acid, 3,4-diglycosylic benzaldehyde, シュウ酸カルシウム	59(7) 76-77 (2017)	
20. キキョウ 	桔梗	根	消炎 排膿, 鎮咳去痰	サポニン: platycodin A	59(8) 76-77 (2017)	
21. キササゲ 	梓実	果実	利尿	イリドイド配糖体: catalpol, catalposide, カリウム塩	60(11) 80-81 (2018)	
22. キダチアロエ 	蘆薈	葉から 得た液 汁を乾 燥した もの	緩下	アントロン配糖体: barbaloin	60(1) 68-70 (2018)	局方の アロエ: <i>A. ferox</i> , または <i>A. africana</i> と <i>A. spicata</i> との雑種
23. キハダ 	黄柏	樹皮	苦味 健胃	イソキノリンアルカロイド: berberine	62(6) 420-423 (2020)	
24. クコ 	枸杞子, 地骨皮, 枸杞葉	果実, 根皮, 葉	枸杞子: 肝腎の 滋補, 地骨皮: 血糖 降下, 血圧降下, 枸杞葉: 血圧降下	(果実) アミノ酸: betaine, カロテノイド: zeaxanthin, physalien, (根皮) betaine, アルカロイド: kukoamine A, B, (葉) フラボノイド: rutin	60(9) 52-54 (2018)	

◆ 野山の花リスト (植物名順) ◆

No. 植物名	生薬名	薬用部位	薬効・利用	主要成分	Vol (No) ページ (発行年)	備考
25. クズ 	葛根	根	発汗, 解熱, 緩和, 関節痛	デンプン, イソフラボノイド: daidzein, daizin, puerarin	58(8) 40-41 (2016)	
26. クチナシ 	山梔子	果実	消炎, 止血	イリドイド化合物: genipin, geniposide, カロチノイド色素: crocin	60(7) 56-58 (2018)	
27. クララ 	苦参	根	苦味 健胃, 解熱, 利尿, 駆虫	アルカロイド: (+)-matrine, フラボノイド: kuraridin, サポニン: sophoraflavosides I	60(6) 72-74 (2018)	
28. ゲンノショウコ 	老鶴草, 玄草	地上部	整腸 止瀉	タンニン: geraniin, フラボノイド: quercetin	58(9) 76-77 (2016)	
29. コウホネ 	川骨	根茎	健胃, 強壯, 止血, 駆瘀血	キノリチジンアルカロイド: nupharidine	57(7) 84-85 (2015)	
30. コブシ 	辛夷	蕾	鼻炎, 蓄膿症, 頭痛 (鎮静, 鎮痛)	精油 (モノテルペン): limonene, citral, アルカロイド: coclaurine, リグナン: fargesin	59(3) 92-93 (2017)	

◆ 野山の花リスト (植物名順) ◆

No. 植物名	生薬名	薬用部位	薬効・利用	主要成分	Vol (No) ページ 発行年	備考
31. サネカズラ 	南五味子	果実	鎮咳, 滋養 強壯薬	(北五味子) リグナン: gomisin A, 精油: citral	57(10) 60-61 (2015)	五味子 (北五味子): チョウセンゴミシの果実で鎮咳, 鎮静作用あり
32. サフラン 	番紅花	柱頭	鎮静, 鎮痛, 通経	カロテノイド (黄色色素): crocin, モノテルペン配糖体 (苦味成分): picrocrocin, 精油: safranal	59(12) 64-66 (2017)	
33. サラシナショウマ 	升麻	根茎	解熱, 解毒, 浮腫 抑制	トリテルペン: cimigenol, クロモン誘導体, 桂皮酸誘導体	58(10) 48-49 (2016)	
34. サンシュユ 	山茱萸	果実	滋養, 強壯, 収斂	イリドイド配糖体: loganin, セコイリドイド配糖体: sweroside, タンニン: trapain	58(3) 38-39 (2016)	
35. サンショウ 	山椒	果皮	芳香性 辛味性 健胃, 駆虫	辛味成分 (不飽和脂肪酸アミド): α -sanshool (sanshool I), 精油成分: (\pm)-limonene, フラボノイド: quercitrin, hesperidin	61(1) 58-61 (2019)	
36. シャクヤク 	芍薬	根	鎮痛, 鎮痙	変形モノテルペン配糖体: paeoniflorin, oxypaeoniflorin, ガロタンニン類	61(5) 406-409 (2019)	

◆ 野山の花リスト (植物名順) ◆

No. 植物名	生薬名	薬用部位	薬効・利用	主要成分	Vol (No) ページ (発行年)	備考
37. ジャノヒゲ 	麦門冬	根の膨大部	鎮咳, 去痰	ステロイドサポニン： ophiopogonin A, ホモイソフラボノイド： ophiopogonone A	60(10) 38-40 (2018)	
38. ショウガ 	生姜	根茎	健胃, 発汗, 鎮吐	辛味成分： [6]-gingerol, 精油： zingiberene	61(1) 58-61 (2019)	
39. スイカズラ 	金銀花, 忍冬	花, 茎葉	解熱, 解毒	フェノール化合物： chlorogenic acid, イリドイド配糖体： loganin, フラボノイド： luteolin	59(6) 92-93 (2017)	
40. セツブンソウ 	節分草	全草	嘔吐, 頭痛, 麻痺	アルカロイド： aconitine	58(2) 84-85 (2016)	薬効 (有毒), 成分等はキバナセツブンソウのもので, セツブンソウは薬用には用いない
41. センブリ 	当薬	開花期の全草	苦味 健胃	セコイリドイド配糖体： swertiamarin, フラボノイド： swertisin, キサントン系化合物： swertianin	59(9) 38-39 (2017)	
42. チャノキ (チャ) 	茶葉	若葉	清熱, 去痰, 利尿	プリン塩基： caffeine, タンニン： (+) -catechin, vitamin C, アミノ酸： theanin	61(10), 594-597 (2019)	

◆ 野山の花リスト (植物名順) ◆

No. 植物名	生薬名	薬用部位	薬効・利用	主要成分	Vol (No) ページ (発行年)	備考
43. トウガラシ 	蕃椒	赤熟した果実	辛味性 健胃, 筋肉痛, 局所 刺激	辛味成分: (E)-capsaicin, dihydrocapsaicin, カロテノイド: capsanthin, β -carotene	62(11) 832-835 (2020)	
44. ドクダミ 	十薬	花期の 地上部	利尿, 緩下, 解毒	フラボノール配糖体: quercitrin, 特異臭: decanoylacetalddehyde	58(6) 24-25 (2016)	
45. トチノキ 	栃の実	種子	食用	サポニン: escin, isoescin	58(5) 44-45 (2016)	
46. トチバニンジン 	竹節人参	根茎	健胃, 去痰, 解熱	オレアナン系サポニン: chikusetsusaponin IV	58(7) 70-71 (2016)	
47. ナツメ 	大棗	果実	緩和, 強壯, 利尿	トリテルペノイド: betulinic acid, ダマラン系サポニン: zizyphussaponin I, cyclic AMP, 糖類	59(10) 54-56 (2017)	
48. ナルコユリ 	黄精	根茎	滋養 強壯, 抗高 血圧	polyonaquinone, 粘液多糖質: falcatan, [(カギクルマバナルコユリ) ステロイドサポニン: sibiricoside A, B, アルカロイド: polygonatine A, B]	62(4) 268-270 (2020)	黄精は 本来, 中国産 のカギ クルマ バナル コユリ を指す

◆ 野山の花リスト (植物名順) ◆

No. 植物名	生薬名	薬用部位	薬効・利用	主要成分	Vol (No) ページ (発行年)	備考
49. ナンテン 	南天実, 南天葉	果実, 葉	鎮咳, 健胃, 解熱	アルカロイド: domestine, nandinine, magnoflorine, 〔(葉) フェノール配糖体: nantenoside B〕	59(1) 44-45 (2017)	
50. ニワトコ 	接骨木	枝, 花,葉	打ち身, 打撲, 鎮痛, 消炎, 利尿	青酸配糖体: sambunigrin, フラボノド: quercetin, トリテルペン: ursolic acid, 硝酸カリウム	59(5) 44-45 (2017)	
51. ノイバラ 	宮実	果実 (偽果)	瀉下, 利尿	フラボノール配糖体: multiflorin A, B, multinoside A, B, タンニン類: methyl gallate, カロテノイド: lycopene	61(9) 712-714 (2019)	
52. ハシリドコロ 	莨菪根	根茎 および 根	副交感 神経 遮断, 鎮痛, 鎮痙, 消化液 分泌 抑制	トロパンアルカロイド: (-) -hyoscyamine, atropine, (-) -scopolamine	60(4) 36-38 (2018)	有毒
53. ハス 	蓮肉	種子	強壯薬, 婦人病	ベンジルイソキノリン アルカロイド: lotusine, higenamine, liensinine, isoliensinine, neferine	62(7) 536-539 (2020)	
54. ハトムギ 	薏苡仁	種皮を 除いた 種子	解熱, 鎮痛, 消炎, 利尿, 排膿	デンプン, タンパク質, 脂肪, ステロール, 多糖類	61(11) 872-874 (2019)	

◆ 野山の花リスト (植物名順) ◆

No. 植物名	生薬名	薬用部位	薬効・利用	主要成分	Vol (No) ページ (発行年)	備考
55. ヒガンバナ 	石蒜	鱗茎	炎症, 腫れ物 (外用)	アルカロイド: lycorine	57(9) 52-53 (2015)	有毒
56. ビワ 	枇杷葉	葉	鎮咳, 去痰, 鼻炎	アルコール: nerolidol, 青酸配糖体: amygdalin	58(12) 44-45 (2016)	
57. フキ (フキノトウ) 	和款冬花	幼若な花茎	鎮咳, 去痰, 苦味健胃	フラボノイド: quercetin, kaempferol, 脂肪族カルボン酸: angelic acid, ピロリジジンアルカロイド: petasitenine, 苦味質, 精油	62(3) 218-221 (2020)	
58. フクジュソウ 	福寿草	根	強心利尿	強心配糖体: cymarin	59(2) 62-63 (2017)	有毒
59. ベニバナ 	紅花	管状花	通経, 駆瘀血, 赤色素	フラボノイド: carthamin, safflor yellow, carthamidin, neocarthamin, 脂肪油	61(7) 540-542 (2019)	
60. ホオノキ 	厚朴	樹皮	芳香性健胃, 収斂, 利尿, 去痰	精油: α -eudesmol, ネオリグナン: magnolol, honokio, アルカロイド: magnocurarine, magnoflorine	62(5) 378-380 (2020)	

◆ 野山の花リスト (植物名順) ◆

No. 植物名	生薬名	薬用部位	薬効・利用	主要成分	Vol (No) ページ (発行年)	備考
61. マムシグサ 	天南星	塊茎	鎮痛, 鎮痙, 去痰	安息香酸, 3,4-dihydroxybenzaldehyde	57(6) 50-51 (2015)	
62. ヤブコウジ 	紫金牛	根茎と根	鎮咳, 消炎, 解毒	イソクマリン誘導体: bergenin, ベンゾキノン: rapanone, トリテルペノイド: α -amyrine, フラボノイド: quercetin	62(2) 130-132 (2020)	
63. ヤマトリカブト 	附子	塊根	興奮, 鎮痛, 強心, 利尿	ジテルペンアルカロイド: aconitine	58(11) 2-3 (2016)	猛毒
64. ヤマノイモ 	山薬	根茎 (担根体)	滋養 強壯, 止瀉, 止渴	ステロイド配糖体: dioscin, allantoin, デンプン, 糖タンパク, スチルベン誘導体: batatasin III	59(11) 62-64 (2017)	
65. ユズ 	柚子	果皮	鎮咳, 去痰, 口渴	セスキテルペン: germacrene B, フラバノン配糖体: hesperidin, 精油: citral, vitamin C, 有機酸	62(12) 906-908 (2020)	
66. ヨモギ 	艾葉	葉 および 枝先	止血, 腹痛, 下痢, 貧血, 冷え性, もぐさ	精油: 1,8- cineole, ケイヒ酸類誘導体: chlorogenic acid, フラボノイド: eupatilin, クマリン: umbelliferone, 脂肪酸: palmitic acid	62(10) 756-760 (2020)	

◆ 野山の花リスト (植物名順) ◆

No. 植物名	生薬名	薬用部位	薬効・利用	主要成分	Vol (No) ページ (発行年)	備考
67. リンドウ 	竜胆	根と根茎	苦味 健胃	セコイリドイド配糖体： gentiopicroside, キサントン系化合物： gentisin	57(11) 26-27 (2015)	
68. レンギョウ 	連翹	果実	消炎, 利尿, 解毒, 排膿	トリテルペン： oleanolic acid, シクロヘキシルエタン誘導体： rengyol, リグナン配糖体：arctiin, フェニルエタノド配糖体： forsythiaside, フラボノール配糖体：rutin	60(3) 48-50 (2018)	
69. ロウバイ 	蠟梅花	花蕾	解熱, 鎮咳, 鎮痛	精油： cineol, borneol, linalool, camphor, 〔(種子) アルカロイド： calycanthine〕	60(2) 60-61 (2018)	